



平成23年3月10日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

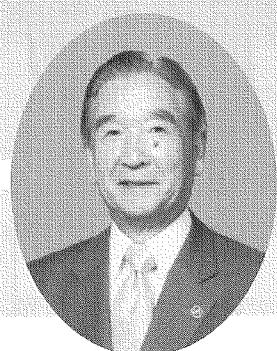
豊岡高校同窓会
会報編集委員会

豊高創立九十周年の関連諸事業が、関係者各位のご協力によつて無事終了しました。同窓会からは、体育館完成も祝つて、舞台の緞帳及び関係幕などを贈らせて頂きました。校長先生はじめ関係教職員及びPTA役員各位、豊高の未来に夢を託してその歩みに一喜一憂している同窓会関係者が力を合わせ、伝統校の重みを確認できたことは喜びです。出席者からも「九十周年か、よかつたな、ありがとう」の言葉が多く寄せられ感激しました。在校生代表の堀越萌花さんは「将来教師となつて豊高に戻つて来たい。豊高は私の誇り」と力強く述べてくれました。過度の自己主張と責任転嫁の風潮が社会の秩序を乱し、糾が断裂

して人々の孤立化が進む中で、こんなにも純粹に自己主張できる後輩たちを誇りに思います。豊高が改革の時を迎えたと言われているが、信頼される人間像の確立と、奉仕の実践に汗を惜しまない子弟育成の教育を追い求めた伝統は、未来に引き継がれると思います。単位制高校への転換は、単に時代の要請ととらえるのではなく、「豊高魂」の再構築のチャンスと受け止めるべきと考えます。今、若者達の内向き志向が指摘されている日本の若人が、世界を活躍の場とすることにためらいを持つべきと想います。

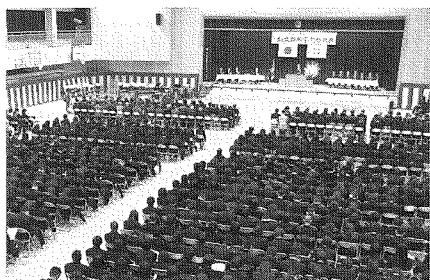
日本では、ハングリー精神が忘れられ、温室を居場所とするような環境が、寒風に立ち向かう勇気を奪つていると思えなくも

あります。私たちの先輩は、恵まれた環境とは言えない中で勉学に勤しみ、農業実習に汗を流すことを当然の責務としたからこそ、地域の人々の信頼を得られたのだと思います。校歌にある「出藍の誉」は、富の成功のためにあるのではなく、人格の陶冶にこそふさわしい意思として、生き続けることを願っています。

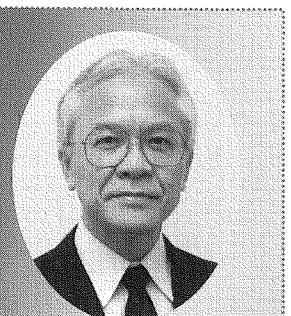


感
創立九十周年に思う
謝

同窓会長 木下 博



創立90周年記念式典風景



「将来のビジョンと人の絆」

（単位制高校づくりと
人材育成にご理解とご支援を）

校長 成瀬 英一

11月20日の九十周年

記念式典では、同窓会、PTA、生徒、教職員等、多くの方の豊高への思いが結集しました。地元の小中学校の校長先生方、経済界の方、自治会の方等、地域を代表される多くの方から立派な式典であつたとお褒めの言葉を頂きました。豊高を愛す

る、多くの方々の思いが実つての成功と考えます。

九十周年は百周年への一里塚と考えます。多くの方々の力を結集して、豊高を21世紀に生きる人材育成を目指す学校にする取組みを始めたいと考えます。

平成25年度からは県教育委員会の後押しで単位制高校となります。教育活動をより時代に対応したものに切り替える大きな機会となります。しかし同時に前回同窓会会報第2号でお知らせしましたように、木下、仲川両市長様、村野教育長様との対談で確認された

豊高の精神を、豊高を支える多くの人と共有し、これから豊高づくりに参加して頂くことが大切と考えます。

単位制高校づくりでは、22年度に作成された新校基本計画を基に23年度には教育課程、教育活動の設計、校舎改築の設計が始まります。外国語系、理数系の学習を中心として、少人数での丁寧な進路指導、学習指導等を通じて、「志を持って課題解決に取り組む」「地域のリーダーとなる」生徒を育成する教育内容が具現化されます。

木下同窓会長は今号の格が目標です。加えて、外国语系では語学の学習は元より、豊高から當時多くの教育を追い求めた伝統は、未来に引き継がれると思います。」と語られています。

太平洋大学等との高大連携が可能となるよう、そして、これからアジア、アフリカ等の途上国での働きが出来る人材育成を推進したいものです。理数系では何よりも「ものづくり」に携わる技術を習得する人材育成を図りたいものです。

二つの系での学習を通して、單に国内での有用な人材育成だけでなく、先進国である日本が世界に貢献するためにも、国際社会において途上国の人材育成が求められている時代と考えます。

学校は単に教科や部活動だけを教える場所ではありません。眞に公共の場で人のために働くことの出来る精神育成が、教育活動の根底に求められます。会長が語られています。「豊高が長い間に培った精神を新たなものとし、発展させること」が、これまでられていましたと考えます。

多くの方の絆が確認された九十周年、力を一つにして、共に新校づくりをお願いいたします。



創立九十周年記念式典 及び 記念祝賀会報告

記念式典

平成22年11月20日

(土) 本校体育館にて創立九十周年記念式典が挙行されました。

来賓として、沢辺飯能

市長、田中龍夫県議・新井格県議・和田浩県議の

他、学校関係者をはじめ、

豊高が日頃からお世話になつてゐる近隣の方々、

さらには多くの卒業生等

百六十余名の出席がありました。

成瀬英二校長の式辞、

木下博創立九十周年記念事業実行委員長挨拶の後、

県教育委員会のことば、

来賓祝辞等を頂きました。

また、同窓会を代表して

仲川幸成副会長より、新装体育館のスポーツトライ

ト・源氏幕・大黒幕・水の乾杯で始まりました。

引幕・縦帳等の記念品目録を学校に贈呈しました。生徒代表のことばを述べられた堀越萌花さんの『豊高が大好きだから、きつと教師になつて戻つてくる。』という言葉に参列していた同窓生は感激もひとしおでした。

二部はアトラクションとしてバトン部と吹奏楽団の演奏がありました。

ドショーされました。

また、豊高吹奏楽団OB・OGの「シンフォニック・ウインズ豊岡」の伴奏による校歌の齊唱では、

参加者全員が立ち上がりて最高潮に達しました。

その後、豊友三七会の皆様を中心いて第一・第二応援歌を声が枯れるほど歌い上げました。

初めての開催ではあります。

九十周年記念式典を開催するにあたり木下同窓会会員の方にご尽力戴きましたことを厚くお礼申しあげます。

九十年の歴史を知り、また同窓生の方々の熱い思いを感じ、周年の記念式典に携われたことを大変感謝申し上げます。子どもたちにとっても普段の生活の中では感じ得られない母校の伝統を肌で感じ、大きな変革の礎となつたと思います。この歩みを止めること無く平成25年度からの単位制高校に向けて、また次の百周年に向けて進み続けることを使命とし、活動を続けることが必要であると考えます。

豊岡高校体育館での式典後、丸広百貨店入間店さくら草ホールにて二百余名の参加者による祝賀会が開催されました。

その後、豊友三七会の皆様を中心いて第一・第二応援歌を声が枯れるほど歌い上げました。

したが、同窓生一同豊高を応援し、盛り上げていこうという気持ちを確認できた祝賀会になつたと

思います。

者に、学校に来て行事に参加し、大人の目線で見て子どもたちとともに重ね行動して戴くことが重要な行動しております。

大切なる母校の伝統を守り続け、次の世代を担う子どもたちの将来を守り続ける為にも同窓会の皆様にはこれからも温かく、そして時には厳しく豊高校を見守り続けて戴くことを節にお願い申し上げます。

**九十周年を振り返って
PTA会長 木内 稔**

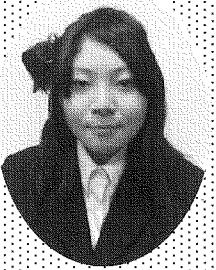


次回の百周年に向けて新たな第一歩を踏み出すために保護者を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。

木下会長・成瀬校長挨拶の後、来賓を代表して新井県議より祝辞を頂き、友山信夫入間市議会議長

の乾杯で始まりました。

木下会長・成瀬校長挨拶の後、来賓を代表して新井県議より祝辞を頂き、友山信夫入間市議会議長



伝統校の誇りと、これから為すべきこと

生徒会長 藤田 千里

11月20日（土）に九十周年記念式典が、本校体育館で厳粛のうちに行われました。私たち生徒会本部の役員はご来賓の方々をお迎えする手伝い等をさせて頂きました。

そこで私が感じたことは、九十年という歴史の長さと誇りです。豊岡高校は大正9年に設立され、平成23年の現在まで、この「豊岡」の地に根を張り九十年の間、沢山の卒業生を輩出すると共に新入生を迎えてきました。この歴史の長さや素晴らしい伝統は、先生方をはじめ、私たちの先輩方が幾多の困難を乗り越え、豊岡高校らしさを生み出したと思います。

最後に、先生方やPTA、

また現在は「地域に根ざした特色ある進学校」という目標の下、豊岡高校の新たな伝統が築き始められているのだと思います。

九十年を機に、これまでに豊岡高校で教わった諸先輩方の歩みにもう一度目を向け、自分たちの学校の歴史の長さや素晴らしい伝統を振り返り、これから豊岡高校のみに貢献したいと思います。そのためには、残りの一年間をこの記念すべき年、生徒会長として、全力で生徒会の組織運営に努め、後輩から慕われる生徒会長となり卒業していきたいと思います。



豊高のシンボル「若草像」
来賓受付風景

現在、部員は二年生が10名、一年生が2名の計12名で活動しています。

11月に行われた関東選抜大会には3名が出席すること

ができました。最終成績はいま一つ振るわなかつたのですが、最初は入賞圏で頑張っていました。途

中から息切れの感があり、徐々に順位を落としてし

ります。その前

アーチェリー部は今年度で創部37年目にな

ります。その前

の同好会時代も長くあつたと聞いています

が、いつ同好会として発足したかは定かではありません。いずれにしても、長い歴史の中での変遷を経て現在に至っています。

現在、部員は二年生が10名、一年生が2名の計12名で活動しています。

これは23年ぶりの快挙でした。この一年を振り返ってみると、近年では大変優秀な成績を修めることができたと思

います。来年も今年以上の成績が修められるよう練習に励んでいます。練習場が校舎の北側にあり、冬の寒風が吹き荒ぶ中では、やはり寒さとの戦いもあり、また、練習場が狭いこともあります。思うような練習ができないことも事実です。

欲を言えば、もう少し練習環境が整えば有り難いと願っています。

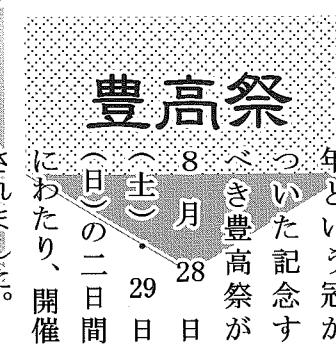
（顧問 橋本 浩）

アーチェリー部

訪問活動（第1回）



今年の豊高祭テーマを背景に



年という冠がついた記念すべき豊高祭が、年にわたり、開催されました。

受付入場者数
計2,537名

豊高祭は生徒会主催の三大行事の中で、唯一、一般公開されている行事です。その準備は非常に多岐にわたっており、文化祭常任（本校独自の実行委員会的組織）は、一学期から、夏休みも含めて、毎日のように準備に取り組んでいました。しかし昨年度より、授業確保の観点から、二学期の始業式が8月24日（火）と、大幅に早まつたため、準備不足で、初日の一般公開直前まで準備に追われていたようです。しかし各団体が精一杯に取り組み、素晴らしい文化祭となりました。

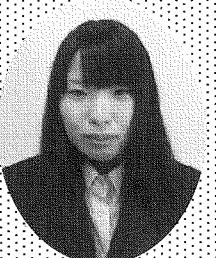
今年度の文化大賞は天文部のクラゲタリウムが二年連続で受賞をし、グランプリは三年五組の第三病棟（お化け屋敷）が受賞しました。来年度もさらに盛り上がるよう

業生は、この創立九十周年という歴史ある豊岡高校の同窓会員になれたことを光榮に思っています。今豊高は変革期で変わり続けています。でもそんな中で、いつの時代も変わらない「豊高らしさ」があります。それは、自分にとって一生の宝である仲間を作れるということです。豊高での三年間、私は様々な経験をしました。もちろん楽しいこともばかりではなく辛いこともありました。しかし、その度に手を差し伸べて

くれる人がいました。それはクラスメイト、先輩、後輩、先生、豊高で出会った全ての人たちです。誰か一人でも出会わなければ今の私はいません。いつも私を見守り支えてくれるみんながいるから、私は今、笑顔で過ごせているのだと思います。卒業を目前にし、強く感じることがあります。

それは、何でもない毎日が本当はとても尊く、かけがえのないものだった、ということです。豊高で過ごした三年間は、私にとって毎日が青春そのものでした。そう思うことができるもの、豊高だからこそだと思います。そして、私はそんな豊高が

くれる人をいたしました。それは、私たちが卒業し、それぞれ別の道を歩み、離ればなれになります。しかし、豊高で共に過ごした三年間が私たちを繋いでくれています。そのことができることも、豊高だからこそだと思います。そして、私はそんな豊高が



豊岡高校に恩返し（新同窓会員として）

前生徒会長 堀越萌花

くれる人がいました。そ

大好きです。

私の将来の目標は、大

切なことを学ばせてくれ

たこの豊岡高校に、恩返

しとして、教師になり戻

からもみんなが好きな豊

高であり続けられるよう

に、豊高が母校であるこ

とを胸を張って言えるよ

うに、見守っていきたい

と思います。豊高は私の

誇りです。

私たちちは卒業し、それ

ぞれ別の道を歩み、離れ

ばなれになります。しか

し、豊高で共に過ごした

三年間が私たちを繋いで

くれています。そのこと

を忘れずに、これからも

自分なりに豊高を見守つ

最初のクラス会は卒業した二年後でしたが、平成元年四十歳を機に五年毎に開くことになり、次回の幹事を指名、平成21年六十歳までで五回を数えることになりました。元年は29名の出席でしたが、毎回減少し今回は17名、住所不明と返事のない者が多くなり、出席者は固定化していくようですが、毎回先生の出

ヒゲの森田宏明先生です。クラスの人数は50名女性上位(人数も多かつた)で、男子はおしとやか?男女間は仲が良く他のクラスの模範でした。

最初のクラス会は卒業した二年後でしたが、平成元年四十歳を機に五年毎に開くことになり、次回の幹事を指名、平成21年三十歳までで五回を数えることになりました。元年は29名の出席でしたが、毎回減少し今回



Tea Time

五年ひとの 若かえり

我々の年代は
昭和43年3月
卒四組で担任は

ヒゲの森田宏明先生です。

で、男子はおしとやか?

男女間は仲が良く他のク

ラスの模範でした。

昭和43年3月
卒四組で担任は

ヒゲの森田宏明先生です。

で、男子はおしとやか?

男女間は仲が良く他のク

ラスの模範でした。

(昭43高卒 大野一)

席を頂き、和やかなクラス会は、最後に五年後の再会を誓つて終わります。今後も生存確認を含め続くことを願っています。

大宮、川越初雁、航空公園、飯能市民各球場へ常に会員十数名が駆けつけている。夢は甲子園での応援である。

特に母校野球部の応援は、校章の使用許可をいたり、会の名を入れた応援旗を作製した。県営大宮、川越初雁、航空公園、飯能市民各球場へ常に会員十数名が駆けつけている。夢は甲子園での応援である。

(豊友三七会 粕谷守)



県営大宮球場に翻る応援旗

2010年3月卒業生進路先

四年生大学	短期大学	専門学校	就職・公務員
162	25	51	9

=主な進路先=

【四年生大学】

電気通信大学、青山学院大学、中央大学、法政大学、東京理科大学、日本大学、専修大学成蹊大学、芝浦工業大学、武蔵大学、女子栄養大学、東京電機大学、亜細亜大学、国士館大学…他

【短期大学】

青山学院大学女子短期大学、共立女子短期大学、日本大学短期大学部、亜細亜大学短期大学部…他

【専門学校】

国際文化理容美容専門学校、武蔵野調理師専門学校、早稲田速記医療福祉専門学校…他

【就職・公務員】

埼玉県警察、航空自衛隊、豊岡第一病院、伊勢丹…他

平成21年度 同窓会決算報告

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

1 普通預金の部

収入合計額 支出合計額 残額(翌年度へ繰越)

6,603,750円 - 2,148,002円 = 4,455,748円

(収入)

科 目	金 額	摘 要
1会 費	870,000	3,000円×290名(22年3月卒業生)
2雑 入	1,562	預金利子
3繰越金	5,732,188	前年度から繰り越し
合 計	6,603,750	

(支出)

科 目	金 額	摘 要
1会議費	118,887	常任理事会経費等
2慶弔費	69,925	慶弔費
3事務費	131,540	同窓会報印刷代、同送料他
4卒業生費	92,450	卒業証書ケース代
5激励費	0	
6講師謝礼費	0	
7積立金	0	
8支援費	1,735,200	スポットライト、体育館舞台幕
9予備費	0	
合 計	2,148,002	

2 定期預金の部

収入合計額 支出合計額 残額(翌年度へ繰越)

18,945,724円 - 0円 = 18,945,724円

(収入)

科 目	金 額	摘 要
1繰越金	18,898,750	前年度から繰り越し
2預金利子	46,974	預金利子
合 計	18,945,724	

(支出)

科 目	金 額	摘 要
合 計	0	

上記のとおり平成21年度の決算報告をいたします。

平成22年 6月 24日

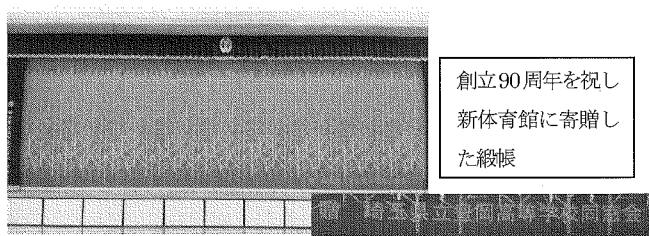
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記会計を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成22年 6月 7日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

創立90周年を祝し
新体育館に寄贈し
た綬帳



平成21年度 事業報告

1 常任理事会 平成21年6月24日(水)

<協議事項>

ア 平成20年度事業報告

イ 平成20年度決算報告及び監査報告

ウ 常任理事承認について

エ 平成21年度事業計画、予算

2 新体育館備品寄贈 (スポットライト・舞台幕等)

3 同窓会会報第1号の発行について

平成22年3月10日(水)

4 同窓会入会式説明 平成22年3月10日(水)

5 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

6 第62回卒業式出席 平成22年3月11日(木)

7 90周年記念事業準備委員会への参加

平成22年度 同窓会役員

役 職	氏 名	卒 年
会 長	木下 博	昭26高
副 会 長	仲川 幸成	昭35高
副 会 長	大野 満	昭41高
監 事	長谷部 安	昭45高
監 事	西澤 昇	昭43高
会 計	河村 正幸	昭42高
会 計	大野 清恵	昭49高
常 任 理 事	山下 富美雄	昭11実
常 任 理 事	中野 弘資	昭17実
常 任 理 事	市川 保一	昭20実
常 任 理 事	小平 勇	昭20実
常 任 理 事	吉原 栄一	昭21実
常 任 理 事	河野 一夫	昭25高
常 任 理 事	横田 劳男	昭27高
常 任 理 事	枝窪 義雄	昭32高
常 任 理 事	石川 秀夫	昭34高
常 任 理 事	大野 竹司	昭37高
常 任 理 事	足立 宏	昭40高
常 任 理 事	久保 増枝	昭42高
常 任 理 事	町田 多可雄	昭43高
常 任 理 事	鹿倉 孝	昭44高
常 任 理 事	辻 泰江	昭46高
常 任 理 事	高山 雅男	昭47高
常 任 理 事	野口 晴康	昭49高
常 任 理 事	高原 誠子	昭50高
常 任 理 事	木口 勝巳	昭51高
常 任 理 事	小林 守利	昭54高
常 任 理 事	橋本 浩	昭54高
常 任 理 事	木内 美佐緒	昭61高
常 任 理 事	高取 岳継	平 5高
常 任 理 事	黒田 哲	平 12高

事務局だより

◎会報発行賛助金への 「」協力に感謝します

祝賀会当日、受付にて

同窓会報発行のための賛助金のご協力をお願い致しましたところ六万八千円のご支援を頂きました。

また、12月に同窓会報第2号を会員諸氏に発送の折、賛助金の振り込み用紙を同封致しましたところ、引き続き多数の方々から賛助金のご協力を頂いております。有難うございます。本来ならば、直接にお札を申し上

発行所 〒三五八一〇〇〇三 入間市豊岡一一五一一

埼玉県立豊岡高等学校 同窓会報編集委員会

T E L 〇四一九六一五二一六 F A X 〇四一九六〇一〇五三

メールアドレス f625216@pref.saitama.lg.jp

げるべきところではあります、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

なお、編集委員会では、次号『出藍』第4号の発行準備に入りました。引き続き皆様の会報発行賛助金へのご協力も併せてお願い申し上げます。

創刊号2頁の挿絵(若草像)は、美術部3年の伊藤秀美さんの作品です。

◎次号の予告と 原稿のお願い

小紙『出藍』は、農豊・豊富・豊高的卒業生や、各時代の教職員の方々、大勢の方々との交流や絆を深める一助として発行させて頂いております。有難うございます。本来ならば、直接にお札を申し上

本年度は、創立九十周

月末日を目途にして、「在学時代の思い出」や「近況報告」、「文芸作品」、「クラス会情報」、「その他」一般投稿も募集しておりますので、奮って原稿をお寄せ下さい。詳細は、事務局・編集委員会までお問い合わせください。あるいは、創刊号・第2号をご覧下さい。

発行人 木下 博宏
編集人 足立 宏
編集委員 大野清恵・木口勝巳
黒田 哲・高原誠子
野口晴康・橋本 浩

編輯後記

▼角界の醜聞が巷間に騒がせている。歴史と伝統の相撲界。数多の名力士や誇りある記録。それらを一蹴する不祥事が続出。伝統に胡坐を搔き、そこに濁が溜まり自浄作用が働くかなくなつたのか?

▼豊高は、九十周年に統く百周年の伝統を見据え、次代の要請に応えるべく

同窓会会长挨拶

祝賀会スナップ



声張り上げて校歌齊唱



埼玉県立豊岡高等学校
創立90周年記念祝賀会

間の中には、有能なる逸材も多くあると聞く。オシリーワンの我々一人ひとりが、頑張る母校を皆で支援しよう。

(あ)